

いわてまち 社協だより



100号
2021.3月

子育てサロン “すくすく” では、バルーンアートに挑戦！
かわいい作品ができました！



編集と発行

社会福祉法人 岩手町社会福祉協議会

岩手町大字五日市10-51-1

TEL.0195-62-3570 FAX.0195-62-1599

●Eメール iwateow@eins.rnac.ne.jp

●ホームページ http://iwatemachi_shakyo.org

目次

- 第28回岩手町福祉作文コンクール … 2～11
- 日本赤十字社会費のご報告 … 12
- 岩手町社会福祉協議会会費・
社会を明るくする運動募金のご報告 … 13
- 赤い羽根共同募金・
歳末たすけあい募金のご報告 … 14～15
- まちの福祉・寄附のご報告 … 16

この広報誌は、共同募金配分金の一部をあてて発行しています。

第28回岩手町福祉作文コンクール

育てよう 思いやりの心 助け合いの心 福祉の心

社会福祉協議会では町内の小・中・高校生を対象に、高齢者や障がい者にやさしいまちづくりを目指し、地域福祉への理解と関心を高めることを目的として、岩手町福祉作文コンクールを毎年開催しています。28回目を迎えた今年度も、学校や家庭、福祉施設での体験や、高齢者・障がい者との交流によって育まれた思いやりの心・助け合いの気持ちなど、福祉の心にあふれたたくさんの作品が寄せられました。

最優秀賞受賞作品を紹介いたします。

なお、第28回岩手町福祉作文コンクール入選作品集は、公民館・町立図書館・学校でご覧いただけます。

第28回岩手町福祉作文コンクール 入選作品

《小学校 低学年の部》（応募総数 9 点）

入 選	学校名	学年	氏 名	作 品 名
最優秀賞	沼宮内小学校	1	大 巻 柚 月	たんじょうび
優 秀 賞	川 口 小 学 校	1	佐 藤 太 志	おにいちゃんのおどばいす
佳 作	沼宮内小学校	1	中 居 ねねな	かぞくのために
佳 作	一方井小学校	2	三 浦 聖 愛	やさしくてはたらきもののおとうさん
佳 作	沼宮内小学校	2	佐 藤 優 愛	わたしのひいおばあちゃん

《小学校 中学年の部》（応募総数 9 点）

入 選	学校名	学年	氏 名	作 品 名
最優秀賞	川 口 小 学 校	3	工 藤 那 菜	感しゃの気持ちを形に
優 秀 賞	一方井小学校	3	三 浦 こまち	わたしの家族
佳 作	川 口 小 学 校	4	佐々木 愛	みんなで助けあって生活しよう！
佳 作	沼宮内小学校	4	丹 治 輝	福祉体験で学んだこと
佳 作	沼宮内小学校	4	北 山 壘 守	みんなが喜んでくらせる岩手町に

《小学校 高学年の部》（応募総数 12 点）

入 選	学校名	学年	氏 名	作 品 名
最優秀賞	沼宮内小学校	6	水賀美 尚 子	みんなで力を合わせて
優 秀 賞	沼宮内小学校	6	立 花 詠 澄	デイサービスセンターの思い出
佳 作	川 口 小 学 校	5	白 旗 樹 璃	お礼の気持ちを伝えたい
佳 作	一方井小学校	5	久 慈 野々花	自分のゆめのために
佳 作	沼宮内小学校	5	福 士 結 衣	一言が力になる
佳 作	沼宮内小学校	5	立 花 嵐	支えがあるから幸せがある

《中学校の部》（応募総数 12 点）

入 選	学校名	学年	氏 名	作 品 名
最優秀賞	沼宮内中学校	1	渡 辺 昊 太	同じ人間だから
優 秀 賞	川 口 中 学 校	3	岩 澤 円	差別がない世界へ
佳 作	一方井中学校	1	雛 鶴 絢 香	私の助けたい人
佳 作	沼宮内中学校	1	道 淵 葉	自分の力で
佳 作	沼宮内中学校	3	田 村 彩 夏	「ちがひ」を知る大切さ

《高校の部》（応募総数 2 点）

入 選	学校名	学年	氏 名	作 品 名
最優秀賞	沼宮内高等学校	2	中 澤 夏那子	ボランティアを通して
優 秀 賞	沼宮内高等学校	1	田 村 妃 菜	身近なお年寄りの大切さに気づいた

最優秀作品紹介

小学校 低学年の部

たんじょうび

沼宮内小学校 1年 おおまき ゆづき

たんじょうびって、とくべつなひだとおもいます。だって、たんじょうびって、なんだかとてもうれしいし、だいすきなちよこけきをたべれるひです。ぶれぜんとをもらうこともあります。

「ねずみくんのたんじょうび」っていうほんがあるけど、いっかいよんだだけですきになりました。これは、ねずみくんのたんじょうびを、ともだちのどうぶつたちがおいわいするおはなしで、わくわくします。ことし、いちねんせいになったばかりのごがつに、わたしにおとうとがうまれました。ほんとうはしがつにうまれるよていだったのに、うまれなかったから、はやくうまれてほしいとおもいました。あいたかった

からです。おとうとがうまれたひ、わたしはばばのうちでひとりでかんがえました。どんなかおかな、げんきかな。

うまれるまえから、わたしはおとうとがうまれるってしっていました。おかあさんとびょういんにいったとき、おなかのなかのしゃしんに、たまたまがうつっていたからです。ばばにおしえたら、

「おたのしみにしてればよかったじゃん。」

と、いっていました。わたしは、おんなのこだといいなとおもったけど、おとこのこならむしになれようとおもいました。どうしてかというと、おとこのこならむしをつかまえてくるとおもったからです。そのとき、きやあつてびっくりしないようにしたいです。だっておねえちゃんだから。それから、おたんじょうびをわすれないで、ぶれぜんとをあげたいです。

いままでは、ばばとままには、おたんじょうかいはするけどぶれぜん

とはあげていません。でもおとうとにはぶれぜんとをがんばってあげたいです。だってなにがほしいかきつと、わたしにはわかるからです。



最優秀作品紹介

小学校 中学年の部

感じやの気もちを形に

川口小学校 3年 工藤 那菜くどう なな

「今日は、感じやの気もちを、形にする日です。」

これは、校長先生が、クリーン作戦の開会式でおっしゃった言葉です。わたしは、その言葉を心の中にしっかりと入れて、町のごみ拾いに出発しました。

わたしがお母さんと、町をおさんぽしていると、ごみがおちているのをよく見かけます。拾おうとすると、「きたないから、やめなさい。」

とお母さんに言われて、気にながらも、いつもそのままにしてしまいます。仕方なく通りすぎるのですが、ふり返って見てみると、「やっぱりきたないな。いやな感じがする。」と思っていました。

今日は、思い切りごみを拾える日

です。道路には、大きなごみはそれほど落ちていませんでしたが、たばこのすいがらや、ネジ、空き罐のプルタブ、ガラスのはへんなど、こまかいものがたくさん落ちていました。「どうしてこんな所にごみをすてるのだろう。」と、心の中でずっと思いながら拾いました。少しの小さなごみをすてることや、そのごみを拾わないでむしってしまうことが、町をよごす大きな原因になっているのではないのかなと考えました。

学校に帰ってから、学級の人みんなで、クリーン作戦のふり返りをしました。

「どうして道路にごみを捨てるんだろう。」

「はるかしくはないのかな。」

「がっかりした。」

などの感想が出ました。わたしも同じ気もちでした。

わたしたちは、いつも川口の地いきのみなさんにお世話になってます。その川口がごみでいっぱいにな

るのはいやだなと思いました。このクリーン作戦で、わたしたちは、いつもお世話になっている地いきをきれいにすることができてよかったなと感じました。これがきつと、「感じやの気もちを形にする」ということなのだ分かりました。

今は、コロナウイルスに気をつけなくてはならないので、ごみを拾うことはむずかしいかもしれませんが、自分たちがすてないようにしたりみんなに呼びかけたりすることはできるのではないかなと思います。

「感じやの気もちを形にする」ということをいつも心の中に入れて、行動していこうと思います。



最優秀作品紹介

小学校 高学年の部

みんなで力を合わせて

沼宮内小学校 6年 水賀美 尚子

私のいとこは、今年赤ちゃんを産みました。まだ会っていませんが、体重が五百グラムで、大きさも手のひらほどしかないそうです。平均的な赤ちゃんの体重は、およそ三千グラム。だから、みのる君はその六分の一ぐらいしか少ないのです。保育器に入り、しばらくはお母さんとも会えないそうです。その小さな命のために、「何かしてあげたい。」「大丈夫かな。」と、いろんな気持ちになりました。

前に見たドラマの中で、「出産はきせきだ。」と、言っていました。でも、どこか遠い所の話のように感じていました。しかし、みのる君が未熟児で生まれてきたことを知り、やっと「き

せき」の意味を身近に感じることができました。私は、みのる君が生まれて、初めて命の重みを感じたように思います。そして人は身近な所で出会った人に対しては親しみをもちやすく、思いやりの気持ちがわきやすいのではないかと考えました。

だから、私は周りの人に目を配ることがとても大切だと思います。「相手の立場になって考え、力を合わせて協力する」こと。そんな思いが、いい学校を作り、いい岩手町を作ることにつながっていくような気がします。

私たちの学校生活を振り返ってみても、そのような取り組みをしていることに気付きました。

例えば、友達のよい行いや優しい言葉を紹介し合い、ほめ合う活動をしています。そのおかげで、自分の言動に気をつけるようになったし、周りの友達に目を配るようになりました。また、六年生が一年生のお世話をし、泣いている子や困っている子には、みんなで力を貸しています。

す。

また、私の学校では、廊下を走ってけがをしないように、正しい廊下歩行に取り組んでいます。正しく歩けたらシールをはります。目標は二百五十枚です。私は初め、達成できるかどうか不安でした。でも、目標を決めた日から男子も女子も声を掛け合い、静かに歩けるようになりました。また、学校には、けがをしてギブスをしている子や手術をしている子もいます。もしもぶつかったら、けがをさせてしまいます。いろいろな立場の子を思うことで、廊下を走らなくなってきました。そして、シールも目標通りの二百五十枚を集めて、全校でお祝いしました。廊下歩行ができたことはもちろんうれしいのですが、みんなで協力できるようなったことはもっとうれしいです。目標に向かってみんなで力を合わせて活動することはとても楽しいです。

私が今、頑張っていることがいつか、よい岩手町を作ることにつな

最優秀作品紹介

がつていくような気がします。そして小さな命を大切にしたり、けがをしている人を助けたりして、みんなで支え合い、どんな人でも幸せに暮らせる岩手町にしたいです。そのためにこれから、友達に目を配り、力を合わせて、学校生活を大切に過ごしていきたいです。

中学校の部

同じ人間だから

沼宮内中学校 1年 渡辺 昊太
わたなべ こうた

「障がい」という言葉を、耳にする機会は少なくありません。

七月のある日、僕はこんな記事を目にしました。四年前の七月二十六日、神奈川県の知的障がい者施設津久井やまゆり園で、元施設職員の男が入所者十九人を刺殺し、入所者、職員二十六人に重軽傷を負わせた事件が取り上げられていました。この記事では、実名報道に対する考え方や風化させてはならないという思いが伝わりました。実名報道することで、誹謗中傷、差別や偏見を招くというのです。生きたかった命や被害に遭われた方や家族になんて酷い仕打ちでしょうか。考えると苦しくなります。

僕の父は福祉の仕事をしていました。精神障がいをもった人たちを支援する仕事です。精神障がいという言葉を耳にしたことはありますか。これは、精神や行動などの機能的な障がいを伴っている状態のことです。うつ病やパニック障がい、物質関連障がい、知的障がいなどと診断された人のことを指すそうです。聞きなれない「物質関連障がい」とは、ものが関連して引き起こされる障がいで、一番耳にするのは薬物依存症です。最近では有名人も違法ドラッグを使用して逮捕され、世の中を騒がせました。この薬物依存症も精神障がいになるのです。

父の仕事の様子から大変さが伝わります。その大変さを考えたときに、障がいを持った人たちを介護し過ぎても駄目なのではないかと思っただけです。あれもこれもとやってあげるのは、本当の支援ではないように思いました。自分でできる事は自分でやってみよう、出来るまで見守る、どうしても助けが必要な時に手を差

最優秀作品紹介

し伸べるのが大切なのではないか
と思ったのです。これは障がいの有
無に関係なく、僕たちにも当てはま
りませんか。やれるのに手伝われた
り、急かされたりすると僕なら少し
イラッします。同じなのではない
でしょうか。その人が自分の手でや
ることや、出来るまで待つことこそ
本当の支援だと思ふようになりました。

父は、自分の仕事を「補助輪」だ
と言います。自転車の補助輪です。
障がいがあってもさまざまな仕事を
してもらって、社会へ出られる練習
をさせたり、社会復帰できるように
するのが仕事です。つきつきりで世
話をするわけではありません。最初は
少し助けたり手伝ったりしますが、
のちに自立してもらえるように促す
ようです。だから、父の仕事は補助
輪というわけです。

何もこれは障がいを持っている人
に限ったことではないと思います。
僕たちだって、数学が苦手な人、英
語が苦手な人、走るのが苦手な人、

泳ぐのが苦手な人などがあります。同
じだと思っています。

僕は、「障がい」という言葉に違
和感を持っています。「障がい」と
いう言葉で区別しているように思う
からです。障がいを持っている人た
ちは、「障がい者」という言葉に、
ある種の差別を感じると言います。
分ける必要なんてないように思いま
す。いろんな人が生活している日本
です。世界です。

誰だって、「苦手」を持っています。
そう考えたら、もっとお互いに生き
やすくなるのではないかと僕は思ひ
ました。



最優秀作品紹介

高等学校の部

ボランティアを通じて

沼宮内高等学校 2年 中澤 夏那子^{なかざわ かなこ}

私は高校一年生の時に、積極的にボランティアに参加し、多くの高齢者の方や障がいのある方々と関わってきました。それらの体験の中で、印象に残っていること、気付いたことについてそれぞれ考えました。

まず、障がいのある方と関わった時のことです。私は以前、みたけ夏祭りに参加しました。夏祭りには、地域の特別支援学校の小学生が多く参加していました。私は最初にその小学生達のステージ発表を見ました。30分ほどのステージで、音楽に合わせて精一杯、リズム良く踊っていました。そしてその後、私は小学生達の出店の手伝いをしました。出店ではゲームコーナーの店で来た人はミニゲームをすることができて、

来た人のカードにスタンプを押す係の子の手伝いをしました。その子はしっかりと来た人にスタンプを押すなど、しっかりと自分の役目を果たしていた事が印象に残っています。障がいというものはただの個性であり、障がいのある方というのは、出来ることはたくさんあるのだ、というのを改めて実感しました。むしろ、初めから終わりまで一生懸命仕事をこなしていて、私だったらこんなに頑張っていたらどうか、とも思いました。そう言えば小・中学生の時、同じ学年に障がいを持った子がいました。その子とは、たまに話をする仲で、その子はすごく絵が上手でした。文化祭の時、その子の展示を見て、「上手だ」と驚いたことを今でも覚えています。障がいのある方も、障がいをもっていない人に勝る何かを持っているのだと気づいた体験でした。

次に、高齢者の方と関わった時のことです。私は、地域のお祭りで出店の手伝いをしました。そのボラン

ティアでは、私は田楽という豆腐の料理の売り子をしていました。売り子をしている時、様々な高齢者の方々と関わりました。まだ元気に歩いている人、杖をついている人、車いすの人などがいました。私はできるだけ高齢者の方に聞き取りやすいように、大きな声ではっきりと話すように心がけました。とても大変でしたが、皆さん満足そうに帰っていったのを見て、私もとても満足しました。参加していた人達の半分が高齢者で、若い人はあまり見かけない事があるませんでした。今は少子高齢化が進んでおり、特に私が暮らしている地域でも高齢者が多いです。よって、私達はおのずと高齢者と関わっていく機会がたくさんあります。私達は、どのように高齢者と関わるべきなのでしょう。私は、高齢者には親切にするべきだと考えます。例えば、あいさつをした時、話しかけられる場合があります。その時は、急いでいない限りできるだけ会話をすることにします。母から聞

最優秀作品紹介

いた話によると、話す相手がおらず、一人で過ごしている高齢者が多く、一日中誰とも話すことが無いそうです。だから私は、できるだけ会話をしようと思っています。話す時は、出店のボランティアをした時のように、できるだけ大きな声で、はっきり発音することを心がけます。必要であれば、身振り手振りもします。会話をするだけでなく、困っていることがあればできる範囲で手伝ってあげることが大切だと思います。と言っても、いきなり見知らぬ人に困っていることはないか、と聞くのは抵抗があるので、まずは自分の祖父母、もしくは近所の顔見知りの人達の手伝いから始めれば良いと思います。私も、休日などはできるだけ祖母の手伝いをするようにしています。特に、重い物を運ぶなどの力仕事は祖母には少し難しいため、積極的に力仕事をしています。高齢になると体に衰えが表れてくるので、ある程度の運動は必要ですが無理はさせないようになりたいと思っています。

これらの事で、共通して考えたことは、心ない言葉や行動で傷つけるような真似はせず相手を尊重し、関わる機会を積極的に作っていくことです。障がいのある方にしても高齢者の方にしても、健康体である自分たちよりも劣るなどということはありません。必ず私達に勝る部分があります。例えば、先程も言った様に、障がいはただの個性で、その人にしか無い長所があります。高齢者は、私達より長く生きている分、多くの経験や知識を持っています。よって、「自分達より劣っている」などと思いはいけません。しかし、それらの人達はやはり自分一人ではできないという場合もあるでしょう。そこで、私達はそれらの人達と協力し合って生活するべきだと考えます。その人達が出来ない事は私達が、私達ができない事はその人達が取り組めば、きっとより良い生活ができるかもしれません。私はこれからもその人達と助け合って生活していきたい、お

互いを尊重し、助け合える社会を作っていきたい、と考えました。



総評「思いやり」

第二十八回岩手町福祉作文コンクールに、町内各小中学校や高校から多数の応募をいただきました。審査員一同が二カ月にもわたる審査を行いました。どの作品も相手を思いやる温かな心、助け合い支え合う心があふれる素晴らしい作品でした。

今回の作品を読ませていただいて、児童生徒の皆さんの感性が鋭く、低中学年の作品からは家族への温かな思いの強さ、福祉体験での学びの価値の大きさというものを感じました。また、高学年から中学校、高校へと学年が進むにつれて視野が広がり、現代的な課題について真摯に考察し深めている姿が大変素晴らしいと感じました。

表現においても、はじめ・中・終わり（序論・本論・結論）など文章構成がしっかりしていたり、応募作品として一字一字心をこめて丁寧に書き上げたりしている作品が多く、物事に対する真剣な心構えが伝わり、大変好感を持ちました。自分の気持ちを相手に伝えたいというところまで高め、私たち読み手の心を揺さぶる素敵な福祉作文を書いてくれた皆さんに、心から拍手をおくります。

さて、今回の福祉作文コンクールで素晴らしいと感じたことがもう一つあります。それは、相手を思いやるやさしい気持ちを「思い」だけで終わらせることなく、それを「行動」にまで高めている作文がたくさんあったことです。

詩人で作詞家の宮澤章二さんの「行為の意味」という詩の中に、次のような文があります。

確かに心はだれにも見えないけれど

心づかいは見えるのだ

それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の思いは見えないけれど 思いやりは見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が あたたかい行為になり

やさしい思いが やさしい行為になるとき

「心」も「思い」も、初めて美しく生きる

それは 人が人として生きることだ

今回の福祉作文入選作品集の中には、やさしい『心』が「こころづかい」という行為となり、『思い』が「思いやり」という行動となっている岩手町の児童生徒の姿が表現されています。今、各校では福祉教育が定着し、福祉体験学習や訪問交流学習の恒例化によって、また、ご家庭での教育や地域の教育活動の充実によって子どもたちの心が育ってきています。ぜひこの入選作品集の一つ一つから、岩手町の児童生徒のやさしい「こころづかい」や「思いやり」に触れていただきたいと思います。

最後になりますが、学年の発達段階に応じてここまで児童生徒を導き、丁寧なご指導をいただいた各校の先生方のご労苦に敬意と感謝を表しますとともに、岩手町の子どもたちに福祉の心を育む機会を提供くださっているご家族の皆様、地域の皆様、社会福祉協議会等の関係機関の皆様に心より感謝申し上げます、総評といたします。

〈審査委員長〉 岩手町教育長 佐藤 卓

日本赤十字社会費の納入にご協力ありがとうございました

令和2年度日本赤十字社の会費募集を行いました。皆様の善意で下記のとおりたくさんの会費を納入していただきました。この会費は、日本赤十字社事業として、国際援護活動・災害救護活動・災害救援活動・医療事業・血液事業・青少年赤十字（JRC）などに役立てられています。

万が一、皆様が被災された場合には救援物資の支給や見舞金を受けられる制度もあります。

一般会費 及び 法人会費 納入状況

● 一般会費

(単位：円)

地 区	会費金額	地 区	会費金額	地 区	会費金額	地 区	会費金額
前ヶ沢	8,500	落葉	3,500	駅前	13,500	下浮島	37,500
吉谷地	2,500	相寅瀬	8,500	犬袋	58,500	岩崎	15,000
御堂新田	6,000	万部	10,000	子抱団地	8,000	沼袋	9,500
御堂	18,000	大平	4,000	細沢	20,500	子抱	10,000
水堀	15,000	上・下五日市	114,000	太田	27,000	芦田内	19,000
小山沢	6,000	城山・新町	65,000	横田	45,500	野原	39,500
朽木林	10,000	民部田	61,000	半在家	8,500	雪浦	27,000
北上	2,500	柳橋	18,000	久保・落合	27,000	橋場	76,500
上横沢	11,000	館	55,500	新田	21,500	上町	16,000
下横沢	10,000	田中・栄小路	24,500	土川	26,000	駅通	53,500
尾呂部	29,500	上大町	16,000	大森	12,500	下町	18,000
川原木	26,000	下大町	34,500	一方井	54,000	山道	24,500
笈の口	10,000	上野口町	24,000	中田	17,000	境田・二ツ森	87,000
豊岡	15,000	下野口町	18,000	黒石	25,000	秋浦・高梨	16,500
大坊	41,000	上愛宕下	23,000	大股	5,500	土滝・雨滝	4,000
岩瀬張	17,000	新愛宕下	34,500	上黒内	11,000	子九十	7,000
曲り	3,500	下愛宕下	55,000	下黒内	22,000	大渡・遠中沢	12,500
一本柳	4,500	江刈内	26,500	葉木田	23,000	太布	6,500
白栂	7,500	石神	42,000	今松	27,500	水無	12,500
日の神子	8,500	上苗代沢	24,000	上鳴沢	25,500	丸泉寺	5,000
下屋敷・膝突・葉の木・上平	19,500	下苗代沢1	24,500	下鳴沢	16,000	穀蔵	2,500
大金沢・小金沢	7,500	下苗代沢2	23,000	上浮島	11,500	一般会費 計	1,994,000

● 法人会費

(単位：円)

事 業 所 名	会 費 金 額	事 業 所 名	会 費 金 額
特別養護老人ホーム あんずの里	30,000	(有)外山商店	10,000
岩手罐詰(株)岩手町工場	5,000	(株)高橋建設	5,000
(株)岩手銀行 沼宮内支店	2,500	(有)高橋商店	10,000
北上脳神経外科クリニック	21,211	(株)東光舎 岩手工場	5,000
(有)キロサ肉畜生産センター	5,000	(株)東北銀行 沼宮内支店	5,000
医療法人 日新堂 介護老人福祉施設ケアホーム川口	10,000	(有)中居建設	10,000
佐渡医院	10,000	鍋倉洋品店	3,000
小豆嶋眼科クリニック	10,000	西館保険サービス(有)	5,000
新岩手農業協同組合 岩手支所	5,000	沼宮内歯科医院	500
瀬川モータース(有)	10,000	(株)宮崎商店	10,000
杣燃料店	10,000	(株)ライブショップメイト	15,000
		法人会費 計	197,211

令和2年度日本赤十字社岩手町分区会費合計額

2,191,211 円

社会福祉協議会費（1世帯800円）・社会を明るくする運動募金（1世帯100円）

ご協力ありがとうございました まちの福祉のために大切にに使わせていただきます

◎下記のとおり報告いたします（行政区ごと）

●一般社費

（単位：円）

地 区	金 額	地 区	金 額	地 区	金 額
前ヶ沢	13,500	上大町	28,800	下黒内	39,600
吉谷地	4,500	下大町	59,400	葉木田	41,400
御堂新田	10,800	上野口町	43,200	今 松	49,500
御 堂	32,400	下野口町	33,300	上鳴沢	46,800
水 堀	27,000	上愛宕下	40,500	下鳴沢	27,900
小山沢	10,800	新愛宕下	62,100	上浮島	20,700
朽木林	18,000	下愛宕下	97,200	下浮島	67,500
北 上	4,500	江刈内	48,600	岩 崎	27,000
上横沢	19,800	石 神	74,700	沼 袋	17,100
下横沢	18,000	上苗代沢	31,500	子 抱	18,000
尾呂部	53,100	下苗代沢1	43,200	芦田内	30,600
川原木	47,700	下苗代沢2	39,600	野 原	70,200
笈の口	18,000	駅 前	19,800	雪 浦	48,600
豊 岡	27,000	犬 袋	103,500	橋 場	135,900
大 坊	72,000	子抱団地	13,500	上 町	28,800
岩瀬張	30,600	細 沢	36,900	駅 通	96,300
曲 り	6,300	太 田	48,600	下町・山道	76,500
一本柳・白樫・日の神子	36,900	横 田	81,900	境田・二ツ森	147,900
下屋敷・膝突・葉の木・上平	35,100	半在家	15,300	秋浦・高梨	29,700
大金沢・小金沢	13,500	久保・落合	50,400	土滝・雨滝	7,200
落葉・相寅瀬・万部	39,600	新 田	38,700	子九十	12,600
大 平	7,200	土 川	45,900	大渡・遠中沢	22,500
上・下五日市	205,200	大 森	20,700	太 布	11,700
城山・新町	117,000	一方井	97,200	水 無	22,500
民部田	109,800	中 田	30,600	丸泉寺	9,900
柳 橋	32,400	黒 石	57,600	穀 蔵	3,600
館	99,900	大 股	9,900		
田中・栄小路	44,100	上黒内	19,800	合 計	3,557,100

社会福祉協議会費は…

1世帯
800円
のご協力

地域福祉ネットワーク事業、高齢者福祉サービス、福祉団体等の育成、子育て支援、ボランティア活動支援、福祉教育の推進等、社会福祉協議会が実施する様々な福祉活動の運営費に充てられます。

誰もが、住み慣れた町で安心して過ごせるよう、住民参加による生涯現役の福祉のまちづくりを目指し、地域に寄り添った事業を展開してまいります。

社会を明るくする 運動募金は…

1世帯
100円
のご協力

岩手地区（岩手町・八幡平市・葛巻町）保護司会の活動資金に充てられます。

保護司は、犯罪や非行に陥った人の更生を支援するとともに、地域の犯罪・非行の予防を図る活動が無償で行なっている民間ボランティアです。保護司の活動に協力する主旨の募金です。



赤い羽根共同募金

みなさまからたくさんの募金にご協力を頂きました。

◆戸別募金（一般募金・歳末募金）

（単位：円）

地 区	一般募金	歳末募金	地 区	一般募金	歳末募金	地 区	一般募金	歳末募金
前ヶ沢	13,500	3,000	上大町	28,800	6,400	下黒内	39,600	8,800
吉谷地	4,500	1,000	下大町	60,300	13,400	葉木田	41,400	9,200
御堂新田	10,800	2,400	上野口町	42,300	9,400	今松	48,600	10,200
御堂	32,400	7,200	下野口町	31,500	7,000	上鳴沢	45,900	10,200
水堀	27,000	6,000	上愛宕下	41,400	9,200	下鳴沢	27,900	6,200
小山沢	10,800	2,400	新愛宕下	64,800	14,400	上浮島	20,700	4,600
朽木林	18,000	4,000	下愛宕下	99,000	22,000	下浮島	67,500	15,000
北上	4,500	1,000	江刈内	48,600	10,800	岩崎	27,000	6,000
上横沢	19,800	4,400	石神	77,400	17,000	沼袋	17,100	3,800
下横沢	18,000	4,000	上苗代沢	43,200	9,600	子抱	18,000	4,000
尾呂部	53,100	11,800	下苗代沢1	44,100	9,800	芦田内	30,600	6,800
川原木	46,800	10,400	下苗代沢2	40,500	9,000	野原	71,100	15,800
笈の口	18,000	4,000	駅前	26,100	5,800	雪浦	48,600	10,800
豊岡	27,000	6,000	犬袋	103,500	23,000	橋場	135,900	30,200
大坊	68,400	15,200	子抱団地	14,400	3,200	上町	27,900	6,200
岩瀬張	30,600	6,800	細沢	36,900	8,200	駅通	96,300	21,400
曲り	6,300	1,400	太田	48,600	10,800	下町・山道	76,500	17,000
一本柳・白栂・日の神子	36,900	8,200	横田	81,900	18,200	境田・二ツ森	156,600	34,800
下屋敷・膝突・葉の木・上平	35,100	7,800	半在家	14,400	3,200	秋浦・高梨	29,700	6,600
大金沢・小金沢	13,500	3,000	久保・落合	50,400	11,200	土滝・雨滝	7,200	1,600
落葉・相寅瀬・万部	39,600	8,800	新田	38,700	8,600	子九十	12,600	2,800
大平	7,200	1,600	土川	45,900	10,200	大渡・遠中沢	22,500	5,000
上・下五日市	205,200	45,600	大森	22,500	5,000	太布	11,700	2,600
城山・新町	117,000	26,000	一方井	94,500	21,000	水無	22,500	5,000
民部田	119,700	26,600	中田	29,700	6,600	丸泉寺	9,000	2,000
柳橋	31,500	7,000	黒石	57,600	12,800	穀蔵	3,600	800
館	99,900	22,200	大股	9,900	2,200			
田中・栄小路	44,100	9,800	上黒内	19,800	4,400	合計	3,591,900	797,400

みなさまの募金が様々な地域福祉事業に役立てられています

岩手県共同募金会岩手町共同募金委員会（藤原徳明会長）では、令和2年10月1日から12月31日の赤い羽根共同募金運動月間中に、一般募金と歳末たすけあい募金を行い、町内各世帯を始め、学校、病院、職場、個人や団体等たくさんの方々からご協力をいただきました。

募金の総額は、一般募金が3,789,811円、歳末たすけあい募金が797,400円でした。

一般募金については、町内で活動する福祉団体やボランティアに関する事業、福祉教育に関する事業、歩行困難な高齢者や障がいのある方のための外出支援サービスや理美容サービスなど、岩手町の地域福祉事業等に役立てられます。

歳末たすけあい募金の使い道については、下記の「義援金配分の報告」をご覧ください。

みなさまの善意が地域を支えています。たくさんのご協力に心から感謝いたします。

◆職域募金

(単位:円)

職場名	一般募金
ベルプラス(株)沼宮内店	4,230
岩手警察署	321
佐渡医院	10,000
(株)第一ポーターファーム	1,698
(有)高橋商店	3,912
医療法人 日新堂 介護老人福祉施設ケアホーム川口	11,008
(株)高橋建設	5,000
岩手罐詰(株)岩手町工場	5,000
特別養護老人ホーム あんずの里	26,854
(株)岩手町ふるさと振興公社	2,054

(単位:円)

職場名	一般募金
岩手町役場 職員	12,004
岩手町役場 窓口	1,121
北上脳神経外科クリニック	10,000
佐藤整形外科クリニック	4,614
佐々木医院	1,374
新岩手農業協同組合 岩手支所	1,952
沼宮内郵便局	3,609
岩手トヨペット	1,403
(有)外山商店	4,141
盛岡中央消防署岩手分署	2,100

(単位:円)

職場名	一般募金
(株)東北銀行沼宮内支店	100
(株)北日本銀行沼宮内支店	104
塚谷医院	10,025
西館保険サービス(有)	5,000
岩手町社会福祉協議会	5,913
(株)宮崎商店	5,000
いわて総合動物病院	1,009
職域募金合計金額	139,546

◆学校募金

(単位:円)

学校名	一般募金
岩手町立沼宮内中学校	19,370
岩手町立一方井小学校	12,350
岩手町立一方井中学校	6,655
岩手町立川口小学校	4,288
岩手県立沼宮内高等学校	8,391
学校募金金額	51,054

◆その他募金

(単位:円)

募金者名	一般募金
自動販売機益金	7,299
預金利息	12
その他合計	7,311

◆募金合計

(単位:円)

一般募金合計額	3,789,811
歳末募金合計額	797,400
共同募金合計額	4,587,211

歳末たすけあい募金

地域歳末 たすけあい運動

義援金配分の報告

地域歳末たすけあい運動は、「みんなでささえあう、あったかい地域づくり」がスローガンです。

町内の要保護世帯や在宅でねたきり等の高齢者や重度障がい者等を対象に、歳末たすけあい義援金として、歳末たすけあい募金を配分しています。

みなさまからのご協力に感謝いたします。

配分対象及び経費	配分額
要保護世帯 146 件 要保護世帯人員 271 名	417,000 円
準要保護世帯 34 件 準要保護世帯人員 66 名	134,000 円
在宅ねたきり・認知症高齢者 7 名	49,000 円
在宅重度障がい児・者 16 名	112,000 円
合 計	712,000 円

まちの福祉

～福祉に関する情報コーナー～

社会福祉事業功労表彰

町社会福祉協議会（藤原徳明（会長）は、町内において多年にわたり社会福祉事業に従事された5名の方に社会福祉事業功労表彰を行いました。

【社会福祉事業功労表彰受賞者】

- ・ 社会福祉法人春陽会
特別養護老人ホーム あんすの里
久保 明子 様
- ・ 岩崎 葵 様
- ・ 久保 幸 様
- ・ ボランティア団体
しののめの会
佐藤 重子 様
- ・ 町民生委員児童委員協議会
佐々木 夏子 様



子育てサロン「すくすく」

町社会福祉協議会は、子育てサロン「すくすく」を開催し、毎月様々な行事を行っています。新型コロナウイルス対策を行って実施していますので、お気軽にご参加ください。



ご寄附いただいた方の紹介



寄附者名・寄附団体名

- みちのくコカ・コーラボトリング(株)西根営業所 様
.....973 円
- 匿名 様..... あいポイント 1,000 円
- ネオス株式会社盛岡営業所 様..... 4,233 円
- めくみの会 様..... 10,000 円
- JA 新いわて女性部岩手支部 様..... 30,000 円
- 匿名 様..... 97,218 円
- 岩手町農産加工組合 様..... 10,000 円

【令和2年10月1日～令和3年3月1日受付分】

